

JTB、2017年の見通し 国内旅行人数は微増

旅行意欲は堅調、日並びも良い

JTBは12月20日、2017年の旅行市場の見通しを発表した。「景気は回復基調にあり、旅行意欲も堅調で、休日の日並びも良い」(同社広報室)ことなどから、国内旅行人数は前年比で0.4%の微増となる2億9400万人と予測する。

17年は、ゴールデンウィーク(GW)と正月を除く週末の3連休が8回と前年より1回多い。GWは5月1日と2日を休めば9連休となる。月末の金曜日に午後3時の退社を促し、買い物や旅行などの時間を創出する「プレミアムフライデー」の効果も期待される。

国内旅行の話題として、名古屋市内にレゴパークのテーマパーク「ゴランド」が4月にオープン。5月にJR東日本の「トランスポート四季島」、6月にJTB西日本の「トワイライトエクスプレス瑞風」と、新しい寝台列車が東進で運行を始める。都市部やリゾート地で新しいホテルの開発も予定されている。

国内旅行の平均消費額は0.3%増の3万4920円、国内旅行消費額は0.8%増の10兆4100億円と推計する。

16年の訪日外国人旅行者数は22.1億人のうち410万人と予測。17年は10万人と予測する。

「三都物語」現地を紹介

JTB西日本と京都・大阪・神戸観光推進協議会

京都市内では、一般公開を始めた「三井家下鴨別邸(重文)」映画「君の名は。」の撮影現場を、体感できる施設「安達くみひも館」京の冬の旅キヤンペーンの特別公開箇所「壬生寺の狂言堂と本堂、妙心寺大雄院、嵐山花灯路などを紹介した。大阪市内では、天神橋筋商店街から大阪ベイエリアの「GLION MUSEUM」へ移動。同施設は、赤レンガ倉庫にクラシックカーなどを展示しており、車の歴史を体験できる。水族館「プレゼンテーション」その後、参加者が自由に商談を行った。

インバウンド商談会は2回行われており、第1回は2015年6月に群馬県「群馬・栃木地区」に連行(当時)と掛け合わせて「勝ち取った」のは、京王、阪急、西鉄といった大都市側事業者である。

また、彼らが鉄道用地(高架など)を活用するなどの都市側事業者で、至近に大規模なバスターミナルを整備したこと、大量の高速バスを発売できることができたこと、インバウンドの増加によるバス事業者の競争激化、共同運行によるコスト削減などが挙げられる。今日ウエブサイトには、共同運行によるバス事業者のメリットと、多岐の路線を持つ大都市側事業者が持つ大規模なバスターミナルの整備が、競争力向上の鍵となる。また、新幹線や梅田、福岡などを拠点に、周辺県の事業者とそれぞれ

JATA 北陸へのインバウンド分散へ 観光関係者と商談会

日本旅行業協会(JATA)は12月13日、地域へのインバウンド需要の分散を促進するための第4回「インバウンド商談会」を石川県金沢市で実施した。北陸信越運輸局、中部運輸局、日本政府観光局が協力。JATA、訪日旅行推進委員会の旅行会社と北陸の観光産

業・自治体関係者、12月6人が参加した。

JNTOの山崎道徳は「川東の太平洋・観光戦略推進部国際観光課観光客戦略グループリーダー、富山の南茂英、石川県の南茂英、観光・地域振興局観光課国際観光班主任、福井県の笠高直弘、観光営業部長主任が各県について、東日観光の社長に1月1日付で井口勝正が就任した。米村道章前社長は非常勤の特命事項担当に就任した。

新役員体制は次の通り

東日観光の社長に1月1日付で井口勝正が就任した。米村道章前社長は非常勤の特命事項担当に就任した。

新役員体制は次の通り

東日観光 社長に井口勝正

東日観光の社長に1月1日付で井口勝正が就任した。米村道章前社長は非常勤の特命事項担当に就任した。

岐路 バスと観光新たな関係

1月1日付まで見てきたように、わが国における高速バスは、地方在住者の「都会への足」として成長してきた。地方部における乗り合いバス事業者は、地元の名士企業であり、そのフラッグシップ商品として地元での認知が自ずと高まったからである。

一方、大都市部では、複数の乗り合いバス事業者が方面別に高速バスを運行することになり、乗り場や予約方法もバラバラで使い勝手が悪かった。また、彼らのほとんどは大手私鉄系のバス事

成定 竜一が説く ■28■

業者であり、確かにその事業規模は共同運行先(地方の乗り合いバス事業者)に比べ何倍も大きいものの、その存在感はある。その存在感は親会社の鉄道沿線という「線」に限られていた。鉄道駅や車内掲出のポスターや沿線情報誌で高速バスの告知を行って、「面」での認知拡大は進まなかった。それは、大都市側事業者が持つ大規模なバスターミナルの整備が、競争力向上の鍵となる。また、新幹線や梅田、福岡などを拠点に、周辺県の事業者とそれぞれ

旅行業・運輸

業者であり、確かにその事業規模は共同運行先(地方の乗り合いバス事業者)に比べ何倍も大きいものの、その存在感はある。その存在感は親会社の鉄道沿線という「線」に限られていた。鉄道駅や車内掲出のポスターや沿線情報誌で高速バスの告知を行って、「面」での認知拡大は進まなかった。それは、大都市側事業者が持つ大規模なバスターミナルの整備が、競争力向上の鍵となる。また、新幹線や梅田、福岡などを拠点に、周辺県の事業者とそれぞれ

業者であり、確かにその事業規模は共同運行先(地方の乗り合いバス事業者)に比べ何倍も大きいものの、その存在感はある。その存在感は親会社の鉄道沿線という「線」に限られていた。鉄道駅や車内掲出のポスターや沿線情報誌で高速バスの告知を行って、「面」での認知拡大は進まなかった。それは、大都市側事業者が持つ大規模なバスターミナルの整備が、競争力向上の鍵となる。また、新幹線や梅田、福岡などを拠点に、周辺県の事業者とそれぞれ

業者であり、確かにその事業規模は共同運行先(地方の乗り合いバス事業者)に比べ何倍も大きいものの、その存在感はある。その存在感は親会社の鉄道沿線という「線」に限られていた。鉄道駅や車内掲出のポスターや沿線情報誌で高速バスの告知を行って、「面」での認知拡大は進まなかった。それは、大都市側事業者が持つ大規模なバスターミナルの整備が、競争力向上の鍵となる。また、新幹線や梅田、福岡などを拠点に、周辺県の事業者とそれぞれ

	1年前10-12月	9カ月前1-3月	6カ月前4-6月	3カ月前7-9月	現況10-12月	3カ月前1-3月	3カ月前4-6月	3カ月前7-9月
全般	9	-6	-13	-10	-11	-13	-12	-18
北海道	-13	-16	5	5	-12	-21	-18	-35
東北	-20	-30	-23	-24	-26	-38	-35	-10
関東(関東圏を除く)	9	6	-4	3	-4	-9	-17	-17
甲信越	-13	-13	-17	-12	-18	-17	-17	-33
伊豆・箱根(静岡を除く)	-19	-22	-27	-17	-25	-28	-25	-26
愛知・岐阜・三重	-20	-17	-26	-17	-27	-27	-25	-18
北陸	19	15	-4	-9	-10	-18	-18	-3
京阪神(京大、京大、京大)	26	9	9	3	3	0	-22	-29
近畿	7	-1	-15	-15	-21	-24	-22	-29
山陽・山陰	-17	-16	-23	-22	-22	-27	-29	-25
四国	-	-	-28	-26	-26	-27	-29	-25
九州	-4	-4	-70	-36	-26	-32	-25	-12
沖縄・奄美	0	5	-5	-2	-3	-1	-	-

酒田市の冬の風物詩楽しむ

日本旅行がツアー

日本旅行はこのほど、季節限定と旬の旅を提案する「極みの旅」シリーズとして、山形県酒田市の冬の風物詩を楽しむツアー「水澤の玉簾(たますだれ)の道と旬の寒鰯(かんたら)を楽しむ旅」を発売した。

山形県唯一の高さを誇る玉簾の滝の幻想的なライトアップを観賞。夜間景観を新たな観光資源とする同市が初の試みとして行っており、パノニックの照明デザイナーが手掛け、同社の最新LEDで照らした幻想的な美しい景観を楽しむという。

また酒田市で行われている祭りに「日本寒鰯まつり」に参加。真鯛をまつりにし、あますところなく入れた寒鰯汁を賞味する。

人事

同県の無形民俗文化財に指定されている「雪の能(まつやま大寒能)」の見学や、こたつで暖をとりのながらの上川舟下りも楽しむ。能は見学の後、役者の交流も行う。

1月28日発の1泊2日。仙台発着で料金1万9800円。

同県の無形民俗文化財に指定されている「雪の能(まつやま大寒能)」の見学や、こたつで暖をとりのながらの上川舟下りも楽しむ。能は見学の後、役者の交流も行う。

月別取扱額

JTB 国内旅行は7%減に

JTBグループの旅行販売会社22社による10月の取扱額は前年同月比9.6%減の1508億8100万円、うち国内旅行は6.6%減の946億8700万円、海外旅行は15.0%減の427億6600万円、国際旅行は11.7%増の89億6100万円、旅行関連商品は20.3%減の94億7300万円となった。

国内旅行の内訳を見ると、団体旅行は4.6%減、一般団体は「組織」が3.0%減、「提携販売」が7.3%減、「官公庁・自治体」が19.0%減、個人旅行は19.6%減だった。

JTBグループの旅行販売会社22社による10月の取扱額は前年同月比9.6%減の1508億8100万円、うち国内旅行は6.6%減の946億8700万円、海外旅行は15.0%減の427億6600万円、国際旅行は11.7%増の89億6100万円、旅行関連商品は20.3%減の94億7300万円となった。

国内旅行の内訳を見ると、団体旅行は4.6%減、一般団体は「組織」が3.0%減、「提携販売」が7.3%減、「官公庁・自治体」が19.0%減、個人旅行は19.6%減だった。

あの日が目に浮かぶ 音楽がある

著作権をまもることは、未来に音楽をつないでいくこと

記憶に残るメロディや歌詞。心をふるわす音楽に出会った飲む。

音楽とその想いが未来へずっとつながるように。

私たちJASRACは、著作権をまもり、音楽を生み出す作曲家・作家などの創作活動をこれからもしっかりと支えています。

JASRAC®

一般社団法人 日本音楽著作権協会
〒151-8540 東京都渋谷区上原3-6-12 TEL (03) 3481-2121 (大代表)
<http://www.jasrac.or.jp>